

ぴらたんニュース

10
2017

京都にちなんだ
話題をお届けします。
京style



「猿が辻」

今回は御所にある「猿が辻」についてです。京都は東の青龍、南の朱雀、西の白虎、北の玄武という四神(しじん)に守られている街と言われます。

東西南北の敵からは、四神が守ってくれるのですが、丑寅すなわち北東に鬼門と呼ばれる弱点の方角があります。そこに壁となって敵に立ちはだかるのが比叡山ということになります。京都御苑の中にある御所は高い堀で囲まれています。その鬼門である北東の角堀が猿が辻と名付けられている場所です。この北東角の堀だけ直角ではなく凹んでいます。これは鬼門である方角から、鬼がやってこないように、角(ツノ)を取っているのです。この凹んだ堀の屋根下は、昼間でも暗く、金網が張ってあるので、中に何があるのか目を凝らさないとわかりません。良く見てみると烏帽子をかぶり横向きに座った猿が、御幣(ごへい＝神事で使う道具)を持っているのがわかります。なぜ、鬼門の角に猿がいるかというと、北東(丑寅＝うしとら)の方角の反対方向は南西(未申＝ひつじさる)。猿は鬼門に強いという理由です。また、災いが「サル」ともいいますね。京都御所の鬼門である北東には比叡山延暦寺があり、この比叡山の滋賀県側のふもとに延暦寺の鎮守社である日吉大社があります。この日吉大社の召使が「猿」なのです。この日吉大社から京都御所に遣わされたのが、猿が辻の猿です。この猿、夜な夜な遊びに出るので、金網の中に入れられてしまったとか。面白いですね。



学校の象徴に欠かせない **学校旗**

消防団の士気に欠かせない **消防団旗**

勝利の証に欠かせない **優勝旗**

効果のあるPRグッズの定番は **オリジナル のぼり旗**

イメージUP 戦略グッズの定番は **オリジナル ピンバッジ**

地域のお祭りに大活躍する **祭裃天**

印旗・横断幕 腕章&タスキ

神社仏閣幕



株式会社 平 岩

〒604-0907 京都市中京区河原町通竹屋町上ル大文字町 241

TEL : 075-222-1041

今すぐ
アクセス!

京都 平岩

* 配信停止をご希望の方はお手数ですが、
「配信停止」とご記入いただきご返信ください。

